岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　福山沼隈線　道路改良事業に伴う業務委託（Ｒ４－５工区）

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　道路　橋梁・高架

ボーリング名	Bor.No.1	調査位置	広島県福山市熊野町			北緯	34° 27’ 02.3011″
発注機関	広島県東部建設事務所			調査期間	令和5年 5月25日～ 令和5年 5月30日	東経	133° 19’ 52.7502″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 39.42m	角度	上 180° 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 90°	使用機種	試錐機	東邦D-0
総削孔長	10.00m								エンジン	ヤンマーNFD12型	ポンプ	BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験	削孔 月日	削孔速度（cm／h）	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削水・送水量 (L／min)	排水量 (L／min)
1	39.12	0.30	G-B 玉石混じり礫		褐								河床堆積物。砂は中砂主体で平均2～5mmの角礫、最大30mmの玉石を含む。																			
	38.22	1.20	G-B 玉石混じり礫		褐灰	w5	h4	E	V	d	D	10 20 98	玉石主体の河床堆積物。20～30cmの玉石とマトリックスを埋める中砂～粗砂からなる。			1.00	50	100													
2						w2	h2	C	Ⅳ	b	CL	12 12 98	流紋岩に該当。主軟硬区分は軟岩Ⅱ～Ⅰに相当する。GL-1.1～2.1mは短柱状コアとして採取。70～90°の節理が明瞭で節理面は褐色化を呈する。岩級区分はCL級程度。			1.10	100													
																2.00	貫入不能													
3						w3	h3	D	V	c	D	21 47 99	GL-2.1～2.5mは岩片状コアとして採取され、コア状態がやや悪く節理面に軟質物が挟在する。岩級区分はDH級程度。			3.00	貫入不能													
4						w2	h2	C	Ⅲ	b	CL	19 19 98	GL-2.5～5.0mは主に短柱状～岩片状コアで採取された硬質なコア。70～90°の節理が明瞭で節理面はやや褐色化を呈する。岩級区分はCL～CM級。			4.00	貫入不能													
5																5.00	貫入不能													
6						w2	h3	D	Ⅳ	c	CL	13 13 97	GL-5.0～8.3mは岩片状～短柱状コアとして採取。上位層と比較して風化が進みややコアが悪い。50～70°および70～90°の節理が明瞭で、節理面は褐色化を呈し、一部で軟質物が挟在する。岩級区分はCL～DH級。			6.00	貫入不能													
7												10 10 98				7.00	貫入不能													
8												7 01 98				8.00	貫入不能													
9						w2	h2	C	Ⅲ	b	CL	11 11 99	GL-8.3～10.0mは短柱状～岩片状コアとして採取。節理は60～70°のものが明瞭で節理面はやや褐色化が進む。岩級区分はCL～CM級。			9.00	貫入不能													
10	29.42	10.00		流紋岩	暗青灰							20 39 99				10.00	貫入不能						5/26	80	66/泥水	W/D	40	240	0	W25	5
11																															
12																															
13																															
14																															
15																															